

事例7 中学校のOJT実践事例

学校行事を成功させるために専門分野を生かした自主研修会を開く 【音楽科のベテラン教員として】

中学校では、多くの学校で合唱コンクールを実施している。毎年、生徒が楽しみにしている行事であるため、どの学級でも熱心に練習して本番に臨んでいる。学級担任は、生徒の熱意に応えるために「もっと何とかしてやりたい」という気持ちで指導に当たっているが、中には合唱指導が苦手な教員や、学級担任の経験が浅い若手教員もいる。そこで、音楽科のベテラン教員として、学級担任の指導の悩みを解消するための合唱コンクールに向けた自主研修会を実施した。

〈取組の内容〉

○合唱コンクールに向けた自主研修会の実施

自主研修会は、学級での練習が始まる前に行った。先生方の負担感を減らすために自由参加としたが、学級担任の参加率は非常に高かった。

研修会では、生徒が主体的に練習に取り組むことが大切だと伝え、学級での支援に役立つ内容を扱った。合唱指導に関する内容では、ストレッチや発声、パート練習の仕方、楽譜の読み方、アドバイスの仕方についての研修を行い、集団づくりに関する内容では、目標の設定や声掛けの仕方などの支援の在り方のポイントを伝えた。どちらも、生徒への具体的な関わりを意識した内容にした。

日 時：水曜日の放課後 1時間程度

場 所：音楽室

参 加：自由参加

内 容：合唱指導や集団づくりにおける支援の在り方

○研修会後に広がりを見せた自発的な学び合い

研修会後に各学級で合唱の練習が始まると、教師も生徒もモチベーションを高めながら取り組む姿が見られた。先輩教員が若手教員の担任する学級を誘ってお互いに発表し合ったり、集団づくりについてアドバイスをしたりするような学び合いの交流も自発的に生まれた。

これが成功の鍵！

⑤得意分野や指導力のある教員から学ぶ場をつくる

音楽科として学校行事を成功させたいという願いから、先生方が自主的に学ぶ場をつくることができました。

①一緒に行う

研修会では、参加した先生方が生徒役となり、実際に体験して学んでもらいました。

音楽が苦手な教員も一緒に歌うことで、歌う楽しさを味わいながら、指導により自分の歌声が変化していくことに気付いたようです。

【研修会に参加した教員の声】

- ・音楽が苦手はどう指導したらよいか分かりませんでしたが、研修会のおかげで生徒の前で堂々と合唱指導ができました。生徒たちが見直してくれたような気がしました。
- ・歌を歌うのはあまり上手ではありませんが、学級担任が率先して歌って模範を示すと、なぜか生徒たちがついてきてくれました。音楽だからこそ、気持ちが伝わるのだと感じました。
- ・初めて学級担任になり、学級のまとめ方が分からず困っていましたが、先輩の先生方が相談にのってくれました。生徒への効果的な声掛けや、当日までの盛り上げ方など、細かく教えてもらいました。

〈取組の成果〉

- ・学級担任の関わり方や声の掛け方が変わり、多くの学級で生徒が意欲的に合唱コンクールに取り組む姿が見られた。その結果、学級担任と生徒が同じ目標に向かって進むことができた。
- ・行事以外でも、教員同士が学び合う場面が増え、若手教員が成長する機会が多くつくられた。